

2022年3月27日
“Data Science for Quality”産官学連携シンポジウム

デミング賞本賞の紹介

デミング賞本賞委員会委員長
東京大学名誉教授
飯塚悦功

「デミング賞」とは

デミング賞とは、戦後の日本に統計的品質管理を普及し、日本製品の品質を世界最高水準に押し上げた大きな礎となった故William Edwards Deming博士の業績を記念して1951年に創設されたTQM(総合的品質管理)に関する世界最高ランクの賞です。

<http://www.juse.or.jp/deming/>



デミング賞の種類

■ デミング賞本賞

- 対象:個人またはグループ
- 「TQM」の研究に関し優れた業績のあった者, またはTQMの普及に関し優れた業績のあった者に授与する.

■ デミング賞普及・推進功労賞(海外)

- 対象:主たる活動が海外に限定される個人
- 「TQM」の普及・推進に関し, 優れた業績のあった者に原則として3~5年ごとに授与する.

■ デミング賞

- 対象:企業, 機関, 事業部, 本部などの組織(以下, 組織という)
- 経営理念, 業種, 業態, 規模, 経営環境にふさわしいTQMが効果的に実施されている組織に授与する(年度賞).

■ デミング賞大賞

- 対象:デミング賞またはデミング賞大賞を受賞し, 3年以上経過した組織
- デミング賞またはデミング賞大賞のレベルを3年以上にわたり維持・向上してきた応募組織に授与する(年度賞).

デミング賞創設のいきさつ

アメリカにおける品質管理の優れた専門家の一人であった故W. E. Deming博士(1900～1993)は、1950年6月15日、財団法人日本科学技術連盟(略称:日科技連)の招きにより来日されました。

東京・神田駿河台の日本医師会館講堂で、博士による「品質の統計的管理8日間コース」のセミナーが開催され、連日博士による講義が行われました。引き続いて、箱根では「経営者のための品質管理講習会1日コース」のセミナーが行われました。

これらのセミナーで、博士は、わが国産業界の経営者、管理者、技術者、研究者に統計的品質管理の基本を平易に懇切に講義され、受講者に深い感銘を与えるとともに、揺籃期にあったわが国の品質管理の成長に大きな影響を与えました。



「QC8日間」コースで講義するデミング博士
(於:日本医師会館講堂)

デミング賞創設のいきさつ

博士の8日間コースの講義は、速記によって記録され、“Dr. Deming’s Lectures on Statistical Control of Quality”の書名で有料配付されましたが、博士は、この講義録の印税を日科技連に寄付されました。

日科技連の故小柳賢一専務理事は博士のご厚意に感謝し、博士の友情と業績を永く記念するとともに、わが国の品質管理の一層の発展を図るために、この講義録の印税を基金としてデミング賞の創設を日科技連の理事会に諮りました。

この提案は理事会で満場一致で承認され、1951年6月、デミング賞の制度が設立されるようになりました。

その後、デミング博士の著書「Some Theory of Sampling」が日本語に翻訳、出版されましたが、博士からさらにこの著書の印税の一部の寄付があり、デミング賞の基金に加えられました。

こうした経緯を経て、デミング賞は大きく発展しました。現在、この賞を維持するための経費はすべて日科技連によって負担されています。

またデミング賞大賞は、1969年10月に東京で開催された世界初の品質管理国際会議(ICQC'69 Tokyo)を記念して、この会議開催の意義を永く将来にわたって維持し、より高めるとともに、品質管理の一層の発展を図ることを目的として、同会議の剰余金を基金として1970年に創設されたものです。

デミング博士

Dr. William Edwards Deming (1900 ~ 1993)

デミング博士は、1900年10月14日アメリカ合衆国アイオワ州スー市 (Sioux City) に生まれ、ワイオミング大学を卒業後、大学講師、米国農務省技師、連邦標準局講師、陸軍長官顧問、ニューヨーク大学教授などを歴任され、その後諸官庁、諸会社の統計コンサルタントや品質管理の指導者として活躍されました。

博士は、統計学、とくにサンプリングの理論と実際の世界的権威であり、またアメリカにおける統計的品質管理創始者の1人で、1950年以降わが国における統計的品質管理の進歩発展に多大の貢献をされ、その功績に対し、日本政府から1960年に勲2等瑞宝章が贈られました。

博士は、1993年12月20日老衰のため93歳の生涯を閉じられました。

デミング賞本賞受賞者

1951	増山元三郎
1952	朝香 鐵一 石川 馨 木暮 正夫 後藤 正夫 東 秀彦 三浦 新 水野 滋 渡辺 英造
1953	北川 敏男
1954	西堀榮三郎
1955	森口 繁一
1956	石田 保土
1957	山内 二郎

1958	茅野 健
1959	小柳 賢一
1960	田口 玄一
1961	加藤 威夫
1962	草場 郁郎
1963	山口 襄
1964	清水 定吉
1965	今泉 益正
1966	朝尾 正 門川 清美 関 和文 藤田 董
1967	近藤 次郎
1968	外島 忍

1969	奥野 忠一
1970	杉本 辰夫
1971	安藤 貞一 近藤 良夫 清水 祥一
1972	伊藤鉦太郎
1973	大場 興一
1974	小林 宏治
1975	山本 太郎 大前 義次
1976	石原 勝吉
1977	布留川 靖
1978	赤尾 洋二
1979	眞壁 肇

デミング賞本賞受賞者

1980	豊田章一郎
1981	唐津 一
1982	塩見 弘
1983	豊田 稔
1984	池澤 辰夫
1985	納谷 嘉信
1986	河合 良一
1987	小林 龍一
1988	竹中 鍊一
1989	久米 均
1990	小林庄一郎
1991	鐵 健司
1992	根本 正夫
1993	鷺尾 泰俊

1994	米山 高範
1995	菅野 文友
1996	笹岡 健三
1997	狩野 紀昭
1998	細谷 克也
1999	小林陽太郎
2000	前田又兵衛
2001	藤田 史郎
2002	司馬 正次
2003	吉澤 正
2004	高橋 朗
2005	佐々木 元
2006	飯塚 悦功
2007	牛久保雅美

2008	坂根 正弘
2009	長田 洋
2010	圓川 隆夫
2011	桜井 正光
2012	中尾 眞
2013	岩崎日出男
2014	鈴木 和幸
2015	蛇川 忠暉
2016	大久保尚武
2017	中條 武志
2018	大沼 邦彦
2019	永田 靖
2020	佐々木眞一
2021	椿 広計

椿 広計先生

2021年度デミング賞本賞受賞

おめでとうございます